

行政・NPO 協働事業助成（NPO 提案型） 実績報告

団体名	市民サポートセンター明石	代表者名	田坂 美代子
事業名	地域におけるゴミ出しサポート		
協働の相手方	明石市コミュニティ推進室		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
平成22年 4月	ゴミ出しサポートの利用者の受付、及びサポートの実施を開始 (3月末までに利用者16名)
11月25日 ～12月13日	広報チラシを明石川東部地域、22,200戸にポスティングし、 利用者とサポーターの募集をする。
11月28日	ゴミ出しサポーターの新規登録受付を開始 (3月末までに計13名)
11月29日 ～12月16日	広報チラシ2,600枚を各所に配布し、利用者とサポーターの募集をする。 (市役所、市民センター、コミュニティセンター、福祉センター、 ボランティアセンター、地域包括支援センター、関係団体など)
平成23年 1月10日 ～31日	広報チラシ1,300枚、ポスター100枚、リーフレット1,500部を在宅介護 支援センター、病院、相談支援事業所などに配布し、利用者とサポーター を募集する。
1月27日～31日	広報チラシを大久保町高丘周辺地域、10,700戸にポスティングし、 利用者とサポーターを募集する。
3月1日～31日	明石市の発行する「広報あかし」でモデル事業実施の案内をする。 (ゴミ出しチケット5枚を無料配布する) 申込者 2名

効果と成果

全国的にも大きな課題であると指摘されている「日常のゴミ出し」について、持続可能なシステムの構築に取り組んだ。

1回200円という利用者負担を求め、サポーターに100円、事務局（コーディネーター）に100円という料金設定は、地域で支え合うための最低限必要な制度設計であると考えている。無償ボランティアに近いけれど、無償ではないことがポイントである。

16名が利用し、当団体の登録サポーターが14名、ゴミ出しのみ行うゴミ出しサポーターが4名、計18名が約400回のサポートを行った。手伝ってもいいよ、という新規のサポーターが13名確保できたことは、具体的に取り組みを進めて広報した結果であり、地域力の確認ができた。市社協の前向きな姿勢を引き出すことができたことも大きな成果であった。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
行政・NPO協働事業助成金 (NPO提案型)	1,000,000
利用料	84,000
自己資金	1,273
合 計	1,085,273

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	印刷費 (案内チラシ)	289,800	289,800
	チラシのポスティング	138,180	138,180
	謝金 (サービス提供責任者)	402,500	402,500
	謝金 (サポーター)	37,000	37,000
	謝金 (コーディネーター)	80,000	80,000
	事務局交通費	8,680	8,680
	小 計	956,160	956,160
間 接 管 理 費	通信費	85,380	85,380
	消耗品費	43,733	43,733
	小 計	129,113	129,113
合 計		1,085,273	1,085,273